

令和元年 11 月 5 日
日本原子力研究開発機構

試験研究炉等の許認可審査案件の全体計画に関する考え方について

(1) 前提条件

- 複数施設の並行審査が可能であること。
- 審査会合は 2 回/月（上旬、下旬に 1 回）を想定。
- ヒアリングは対象の審査会合に向けて回数を設定。
- 新規制基準対応の試験研究炉（5 施設）※¹の設工認要否整理表について、年内に規制庁との確認終了を想定。

※ 1：NSRR、STACY、廃棄物処理場、JRR-3、HTTR

(2) 考え方

- 許認可審査対応スケジュールは、各施設の運転再開を起点に試算（逆算）。
- 上記試算に基づき、各案件の許認可取得期限※²を設定。
※ 2：許認可取得期限は、これまでの審査経験を踏まえ設定した期限であり、過度な裕度は設定していない。
- 許認可までの審査回数（ヒアリング、審査会合）は、これまでの審査経験を考慮して設定

以上